



議会だより

今回の定例会

3月

6月

9月

12月



仲間と共に！
高花MBC

(高花ミニバスケット
ボールクラブチーム)

いんざい
議会だより

目次

P 2～ 令和6年第2回臨時会
令和6年9月定例会
予算審査

予算審査常任委員会

P 4～ 決算主要事業・決算の審査
決算審査特別委員会

陳情

正副議長の動向

行政視察受け入れ

P 6～ 一般質問

会派代表質問 6人

個人質問 14人

P 20～ 各常任委員会の審査

建設経済常任委員会

総務企画常任委員会

文教福祉常任委員会

P 23 議案と審議結果一覧
討論P 24 市民の声
次回定例会のお知らせ
編集後記

●新人議員を紹介します

7月21日に市議会議員補欠選挙が行われ、新しく3名の議員が選ばれました。今回の選挙は、3名の議員辞職による欠員を補充するため実施したものです。

おおさき あき
大崎 亜希 議員
(原山三丁目)

【会派：いま未来】

○文教福祉常任委員会
○印西市議会基本条例
制定特別委員会
○議会だより編集委員会つだ けんこ
津田 憲吾 議員
(牧の原三丁目)

【会派：新政】

○総務企画常任委員会
○予算審査常任委員会まつや ともみ
松谷 知美 議員
(小倉台一丁目)

【会派：いま未来】

○建設経済常任委員会
○予算審査常任委員会
○議会運営委員会

●議会人事

各 委 員 会	総務企画常任委員会副委員長	加藤亮二 議員
	議会運営委員会副委員長	松尾榮子 議員
	議会だより編集委員会	松尾榮子 議員、加藤亮二 議員 大崎亜希 議員
機 関 等 属	一部事務組合	印西地区環境整備事業組合 山田喜代子 議員 長門川水道企業団 津田憲吾 議員
	附 属 機 関	都市計画審議会 大野忠寄 議員

令和6年度補正予算

予算審査
常任委員会

9月12日に委員10人出席のもと審査を行い、全て原案のとおり可決しました。

ここでは主な質疑応答を要約して掲載します。

令和6年度補正予算〈予算審査常任委員会〉

歳入歳出予算の補正	一般会計補正予算(第5号)
補正前の額	531億7,266万4千円
補 正 額	4億5,821万7千円
補正後の額	536億3,088万1千円
歳入歳出予算の補正	介護保険特別会計補正予算(第2号)
補正前の額	66億1,579万円
補 正 額	1億9,605万8千円
補正後の額	68億1,184万8千円

令和6年第2回臨時会 議案と審議結果一覧

第2回臨時会は8月7日に開催されました。議案1件、専決処分の承認1件、同意1件が上程、審議され、原案通り可決・承認・同意されました。

番 号	件 名	議決結果	大崎 亜希	大野 忠寄	加藤 亮二	鈴木 博美	津田 憲吾	都築眞理子	林 勝利	松谷 知美	藤江 研一	稲葉 健	小川 利彦	櫻井 正夫	岩崎 成子	近藤 瑞枝	増田 葉子	松尾 榮子	軍司 俊紀	金丸 和史	板橋 睦	山田喜代子	米井 重行	海老原作一
《 議 案 》 （ 市長提出議案 ）																								
承認第 1 号	専決処分の承認を求めること	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 1 号	令和 6 年度印西市一般会計補正予算（第 4 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第 1 号	印西市監査委員の選任につき同意を求めること（櫻井正夫議員）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※○＝賛成、×＝反対、退＝退席、欠＝欠席、除＝除斥（※地方自治法の定めにより本人等が関係する議案の採決に加われません。）、—＝その他 ※議長（海老原作一）は採決に加わりません。

議案の概要

承認第1号	市議会議員補欠選挙に要する経費	補正額	2,686万3千円
議案第1号	物価高騰重点支援給付金事業	補正額	4億3,194万円

9月定例会

9月定例会は、8月28日から9月26日までの30日間、開催されました。市長提出案件は議案11件、認定6件、報告2件、同意5件で、それぞれ慎重な審議が行われました。審議結果は、23ページに掲載しています。

通学路等の交通安全対策

事業費 5,400万円増額



- 【目 的】 通学路等の安全を図るため
- 【概 要】 道路延長で約25kmの道路区画線の補修等を実施
- 【事業期間】 令和6年度

一般会計補正予算（第5号）
増え続ける児童生徒数
問 小中学校施設管理や、教材整備に要する経費の2億2490万1千円の内訳は。
答 令和7年度に学級増が見込まれる学校に必要となる経費のほか、原小学校の校舎増設に伴う管理備品等の購入経費である。
問 フクチン価格大きく上振れ
答 新型コロナウイルスワクチン接種事業5376万8千円の増額理由は何か。
答 フクチン価格が当初見込みより高くなるため、接種費用代金1人当たり1万5300円のうち自己負担を3千円とし残り1万2300円の見

込み対象者分を増額補正した。児童クラブ待機児童解消へ
問 児童クラブ施設整備事業2175万4千円は何か。
答 令和7年度開所に向けた木刈・いには野・高花児童クラブの施設改修経費である。合計115名の定員増となる。
問 通学路等の安全向上へ
答 通学路等の安全を図る道路区画線修繕工事費5400万円の増額補正による路線延長25kmで補修は完了するのか。
答 現時点で把握している区画線に関しては概ね完了見込み。印西中学校、西の原中学校の通学路、かふう保育園いんざいの北側道路、NOVAバイリンガル印西東の原保育園の南側道路を予定している。





令和5年度の市政運営はどうだったのか ～決算審査特別委員会の報告～

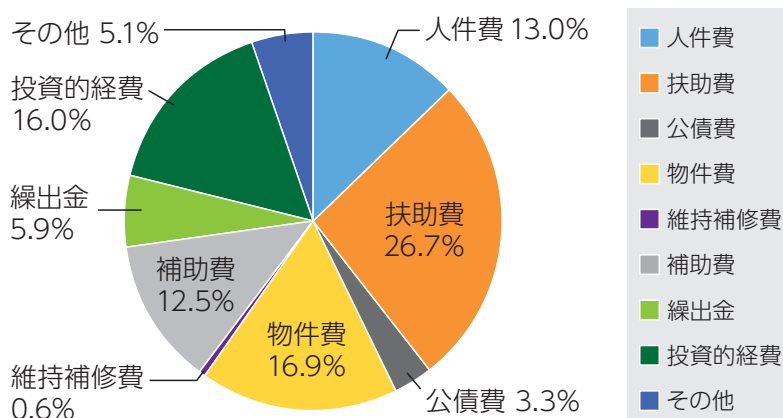
市民の皆さんからお預かりした税金がどのように市民サービスに生かされたのでしょうか。

令和5年度決算審査のために「決算審査特別委員会」が設置され、4日間にわたり審査が行われました。審査の結果、一般会計ほか5会計すべてが「認定」となりました。

ここでは、一般会計の市民一人あたりの支出先を「性質別」に整理してお示しするとともに、それぞれでどのような質疑・応答があったのか、要点をご報告します。

市民ひとりあたりに置き換えた支出は **444,726円**

人件費	57,915円
扶助費	118,808円
公債費	14,589円
物件費	74,950円
維持補修費	2,518円
補助費	55,420円
繰出金	26,314円
投資的経費	71,323円
その他	22,889円
計	444,726円



人件費

職員の給与、議員報酬など

問 時間外労働が多い課はどこだったか。

答 一人あたり年平均で、生涯学習課が271時間、防災課が256時間、指導課が239時間だった。

扶助費

生活保護費、児童手当など

問 生活保護の新規申請数は何件か。また、扶養照会は何%に対して行ったのか。

答 新規申請者は77件で50件ほどに保護が開始されている。うち半数ほどに扶養照会を行った。

物件費

委託費や物品購入費など

問 キャッシュレス決済利用の状況はどうだったか。

答 施設予約システム導入に伴い、11施設に11台増設するほか、環境保全課に1台、スポーツ振興課に発券機2台設置した。令和7年度ではさらに増設を検討している。

問 文化ホールの管理運営が指定管理者となったが、モニ

タリングの結果はどうか。

答 鑑賞型12事業、育成7事業、普及育成2事業、創出4事業の25事業が実施された。モニタリング評価は、優秀・Bだった。



管理・運営が民間に委託された印西市文化ホール

補助費

一部事務組合等への負担金など

問 バス路線維持のための補助金額はどうなっているか。

答 小林線、六合路線、印旛学園線、宗像路線の4路線の運行経費の赤字分を補助している。

問 合併処理浄化槽設置補助金の実績は、令和5年度90基であるが、簡易水質検査の実



計画通りに整備が進む災害用マンホールトイレ
出典：国土交通省ウェブサイトより引用

問 災害用マンホールトイレの整備については、計画通り進められているのか。

答 令和5年度は、小林中学校、高花小学校の設計を行い、印西中学校、原山中学校に整備した。工事は国庫補助を活用し、計画通り実施した。

投資的経費

道路や施設の
建設工事費など

績は、47基だ。この実績はどう考えればよいのか。

答 簡易水質検査は設置した浄化槽すべてに実施しているわけではない。法定的な検査でなく、指導の権限もない。

ほか5会計から

介護保険特別会計

問 地域包括支援センターへの相談実績はどうだったか。市が関与する虐待などケースはどのくらいあったのか。

答 5包括支援センター合計で5903件の相談があった。そのうち虐待対応は41件あった。

水道事業会計

問 無効水量が異常に増えている。例年漏水等で4万立方メートルだが、7万立方メートルに急増している。原因を把握しているのか。

答 原因は把握できていない。



令和5年度に竣工した「新高花学校給食センター」

正副議長の 動向

印旛管内市議会
正副議長連絡協
議会視察研修



令和6年8月6日開催の印旛管内市議会正副議長連絡協議会の定例会では、3議案が全て可決されました。その後、印旛地域の農業及び国営北総中央農業水利事業について研修し、中央管理所の見学を行いました。

陳情

第6―5号

▼ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情
〔議員配付〕

第6―6号

▼母が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情
〔議員配付〕

京都府舞鶴市議会が 視察に来庁

令和6年7月18日(木)、京都府舞鶴市議会議員が視察に来庁しました。

○視察内容

・『住みやすい街』とするための政策

印西市総合計画について企画政策課長及び担当者が、子育て支援策の特徴について子育て支援課の課長及び担当者が説明を行いました。

三重県伊勢市議会が 視察に来庁

令和6年7月25日(木)、三重県伊勢市議会議員が視察に来庁しました。

○視察内容

・防災ポータルサイト
・災害時における洗濯支援に関する協定

防災課の課長、担当者が説明を行い、その後、海老原議長がスマートフォンでポータルサイトの画面を紹介しました。

我が市政を問う



一般質問

定例会では、8月29日から9月5日に会派代表質問及び個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここではその一部を掲載いたします。

この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

会派代表質問

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. 新政 (金丸 和史) | P 7 |
| 2. TO BE (林 勝利) | P 8 |
| 3. 公明党 (藤江 研一) | P 9 |
| 4. いま未来 (松谷 知美) | P 10 |
| 5. 至誠 (大野 忠寄) | P 11 |
| 6. 創進 (増田 葉子) | P 12 |

個人質問

- | | | | |
|-----------------|------|-----------------|------|
| 1. 軍司 俊紀 | P 13 | 8. 都築 真理子 | P 16 |
| 2. 小川 利彦 | P 13 | 9. 大崎 亜希 | P 17 |
| 3. 鈴木 博美 | P 14 | 10. 板橋 睦 | P 17 |
| 4. 近藤 瑞枝 | P 14 | 11. 米井 重行 | P 18 |
| 5. 稲葉 健 | P 15 | 12. 松尾 榮子 | P 18 |
| 6. 岩崎 成子 | P 15 | 13. 津田 憲吾 | P 19 |
| 7. 山田 喜代子 | P 16 | 14. 加藤 亮二 | P 19 |



録画中継はこちらから



おしらせ

いんざい議会だより

令和6年(2024年)11月 No.210

問 管理計画認定制度の状況はどうか

答 認定されているマンションは3件

「新政」金丸和史 議員



質問1 マンション管理計画が認定された場合どのようなメリットがあるか。

市長 共用部のリフォーム工事を行う場合の融資において金利が引き下げられることや「すまい・る債」の利率の上乗せ等の優遇措置がある。

再質問 令和5年度の方譲マンション実態調査について伺う。

答弁 49管理組合に対してアンケート調査を行った結果、全てのマンションで長期修繕



管理計画認定マンション

計画を策定しており、計画に基づき修繕積立金を設定しているマンションは93・2%。また、築40年を経過した高経年のマンションはない。

再質問 マンションに対する助成金や補助金を新設する考えは。

都市建設部長 現在のところ、新設は考えていないが、管理計画認定取得の推移を注視し、マンション適正管理に関する支援を進めていきたい。

質問2 藤代新市長の政治姿勢について伺う。板倉前市長の事業は、基本的に継続するのか、転換するのか。

市長 前市長の施策の成果や課題を分析した上で、市政の発展に繋がるものは継続し、更なる進化をさせていきたい。

再質問 「副市長2人体制」の必要性についての理由と今後の対応について伺う。

答弁 市役所体制や市職員の在り方を抜本的に見直し、これまでの副市長の業務に加え、司令塔機能として分野横断的に戦略を描き、政策を調整し、実行できる副市長の存在が不可欠と考えている。また、議員の方々に丁寧な説明を行い、適切な時期に副市長の定数を2人にする条例案を議会に提出したいと考えている。

再質問 市長が考える「教育」について伺う。

答弁 「印西で学校に通わせたい」と考える世界一の教育を目指すため、次の3つの柱「子どもの可能性を伸ばす」「全ての子どもの居場所づくり」「地域で育む」を掲げていきたいと考えている。

再質問 「総合教育会議」の開催の頻度について伺う。

答弁 課題克服のため、今後、必要に応じて開催したい。

問 本庁舎の移転・新設について問う

答 慎重に検討したい

「TO BE」 林勝利 議員



質問1 本庁舎の移転・新設について問う。

市長 現在の本庁舎は、昭和51年度に建設され40年以上が経過し老朽化が進んでいる。本庁舎は行政の中心であり、災害時は市民を守る拠点とし



老朽化が進む印西市役所本庁舎

て重要な施設となることから、本庁舎の移転・新設は市として大変重要な判断になると認識している。特に、本庁舎の在り方や配置の方向性については市民ニーズを踏まえ慎重に検討していきたいと考えている。

再質問 移転・新設にはどの程度の期間を要するのか。

総務部長 他市の事例では、新庁舎建て替えの構想から供用開始まで数年から十数年の期間を要している。

再質問 早急に移転・新設の方針を決定する考えはないか。

市長 本庁舎の配置については早めに方向性を示すことが

必要と考えているが、市として重要な判断になることから慎重に検討したい。

質問2 習い事や学習塾の費用補助に利用できるクーポンの導入について伺う。

市長 先進自治体の事例を参考に検討していきたい。

質問3 部活動地域移行の状況について伺う。

教育長 印西市部活動地域移行推進協議会の中で検討した結果、令和7年9月より野球と女子バレーボールの2種目でモデル実証事業を実施する。

質問4 統廃合された小中学校の施設利用状況は。

教育長 そうふけふれあいの

里や本埜公民館など改修工事に伴う備品の一時的な保管場所として利用している。体育館についてはスポーツ団体などの学校開放利用団体が使用している。

再質問 道の駅等の観光利用をする考えはないか。

企画財政部長 旧本埜第二小学校及び旧宗像小学校については、現時点においては利活用の方向性は定まっていない。今後、利活用が可能な状況となった場合については、サウナディング型市場調査等により、市場性の有無やアイデアを把握し地域の活性化につなげていきたいと考えている。

問 市内バスダイヤ改正利便性向上は

答 ふれあいバス再編に取り組む



「公明党」 藤江研一 議員



印西市役所を出発するふれあいバス

質問1 市内バスのダイヤ改正と利便性向上に関し、市長の認識と今後の対応を伺う。

市長 市民からいただいている運行本数、運行時刻、運行ルートなど多様な意見、要望を踏まえ、令和7年度のふれあいバスの再編に取り組んでいる。

質問2 原小学校の児童数増加への対応は。

市長 現在までの報告を受け、分離新設を念頭に課題整理をしている。解決に尽力し、早

期に示したい。

質問3 線状降水帯予測精度が向上し、半日前予測による運用が始まった。市長の受け止めと今後の対応を伺う。

市長 非常に有用な技術の進展で、市としても適時適切な対応が図られるよう体制強化、防災意識向上を図っていく。

質問4 認知症の方に寄り添うケア技術の対応検討は。

市長 ユマニチュード(※)に代表されるケア技術は、介護現場で研修、紹介した。今後周知を図りたい。

質問5 医療的ケア児の保育所等への入所は。

市長 市内保育園等で検討を重ね、令和6年中の受入れ体制整備を進めていきたい。

質問6 特別支援教育の充実に関し、一人一人の発達状況に応じた学習支援教育ソフト

の導入が進んでいる。当市の対応を伺う。

教育長 今後、民間事業者のサポートについても学校に紹介していきたい。

質問7 最低賃金引上げに関し、当市と雇用契約を結んでいる方への対応で補正予算は。

市長 一般職常勤職員のベースアップと会計年度任用職員にも給与総額に適切に反映させたい。12月定例会への補正予算案提出を予定している。

質問8 大網白里市のようにゴルフ場をふるさと納税返礼品の対象にできないか。

市長 令和6年8月から習志野カントリークラブでふるさと納税返礼品を開始している。

※「ユマニチュード」とは、あなたを大切に思っていることを相手に伝えるケア技法。

問 アスリート育成補助金創設の考え

答 今はないが他市の状況を調査する

「いま未来」 松谷知美 議員



質問1 新市政に伴う印西市

の基本構想の見直しの考えは。

市長 私のマニフェストと大

きな齟齬が生じない限りは現
行の基本構想を踏襲する。

再質問 方針を変えずマニフ

エストの事業を進める場合、
市の総合的方針がぶれてしま

う可能性がある。まず初めに
基本構想の見直しを検討する

考えはないか。

答弁 現在私のマニフェスト

と事業のすり合わせを行って
いる。早い時期にどういった

対応をするか示したい。

質問2 印西市スポーツ推進

計画における課題は。

市長 スポーツ行事への参加

者数が伸び悩んでいることか
ら、スポーツに関心のない方

々への取り組みや、市内スポ
ーツ施設の情報提供や環境の

充実、市民にとって利用しや

すい施設の提供を行っていく
ことが重要だ。

再質問 スポーツ行事参加者

数が伸び悩んでいるとのこと
だが、松山下公園で行われて

いるスポーツ健康フェスだけ

でなく、歩道などのまちなか
でスポーツイベントを行うこ

とで、誰でも気軽にスポーツ
を見たり体験したりできると

考えるがどうか。

健康子ども部長 市主催のス

ポーツイベントは引き続き市
内の公共施設において開催し

ていくが、市民団体等がまち
なかでスポーツイベントを行

う際には支援していく。

質問3 アスリートの育成・

強化については、クラブチー
ム等が自主的に行っていくと

いう方針か。

健康子ども部長 本人や家族

のご意向もあることから、競

技レベルや年代等それぞれの
ステージにおいて、関係機関

により行っていくものと考え
ている。

再質問 一定の条件を満たす



全日本少年少女空手道選手権大会

答弁 市ではスポーツ協会等
へ補助金を交付し、そこから
加盟団体へ助成しているため
現段階では考えていないが、
他市の状況について調査する。

問 転換期を迎える市政運営について

答 市民の声を聴き市政運営に努める

「至誠」大野忠寄 議員



質問1 地域での対話型タウンミーティングの開催方法は、

市長 市民との徹底した対話の機会を設け「会えるリーダー」として市内各地域でタウンミーティングを開催し、市民の声に耳を傾けていく。

再質問 市民共創のまちづくりの手法について伺う。

答弁 複雑多様化する市の課題に対し、市民参加型のまちづくりが大切である。様々な



活動や専門性を持つ方々、かつ、市民の多くの意見を聴きながら市民と市が一体となり、まちづくりを進めていく。

質問2 「雇用創出に向けた新たな産業誘致」市民の雇用が促進される産業誘致について伺う。

市長 市域における新たな雇用創出を図るためにも強固な地盤に加え、都心まで電車ですら約40分、成田国際空港まで約20分に位置した立地優位性を最大限に生かし、世界で戦えるグローバル産業の誘致に注力していく。

質問3 「市職員の想いと能力を拓く」増加する業務内容の抜本的な見直しは。

市長 全ての部署を対象に、所管する業務にかかる時間及び人員、業務プロセス等の状況について業務量調査を実施する。また、業務改善策や人

員配置の適正化に向けた方向性を提案し、行政運営の最適化を図るため、各担当課において客観的な視点からの指摘や改善策に対する調査・検討を行う。

再質問 「複雑化する業務の専門性向上を図る」とは。

答弁 大規模災害などのリスクの顕著化や価値観の多様化、デジタル社会の進展などにより、地方公共団体の役割がますます複雑多様化する中で行政課題に適切に対応するためには職員の専門性を向上させることが急務である。

再質問 外部人材の採用確保について伺う。

答弁 高い専門的知識を持つ外部人材の登用は職員の専門性向上に繋がることから、業務の性質等を踏まえた上で、ニーズに適した多様な外部人材を確保していく。

問 子どもファーストの教育改革とは

答 真に子どもに寄り添う学習環境だ

「創進」増田葉子 議員



質問 藤代市長のマニフェストからは、子どもたちのために「より良い学習環境」をつくっていくという意気込みが感じとれるが、居場所として学校を選ばない子どもも

年々増加しており、国際社会からも日本の特別支援教育は差別を生んでいると勧告されている。小手先の改善では、子どもファーストの学習環境をつくれな。まず何から着手するのか。

市長 私自身も含め教育行政に関わる全ての者が、「真に一人一人の子どもたちに寄り添った学習環境をつくる」という共通目的をもち、これまでの前例や理屈はいったん脇において、子どもたちの未来のためになすべきことを判断基準の最上位において教育行政を進めていきたい。そうしていくことで、個別の施策の

在り方や効果も大きく変わるものと考えている。

再質問 例えば、学校の適正規模化、適正配置の施策は子どもファーストだったか、そういう点検を始められるということか。

答弁 子どもファーストの学習環境づくりには、学校適正規模・適正配置の施策も含まれており、確認が必要であると考えている。子ども一人一人の個性によって適正規模は変わる。規模の観点を第一には考えない。

再質問 子どもファーストの学習環境づくりには、テクノロジー教育や国際理解教育の

みならず、児童心理の専門職や家庭支援の福祉職、トラブル対応の専門職や第三者機関など、学習環境を支える人材や地域連携が必要となる。人材確保をどう進めていくのか。

教育長 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門人材を市で雇用して配置する。また、スクールロイヤーと相談できる体制を整え、地域との連携を密にしていきたい。

再質問 インクルーシブ教育の実現に向けての考えは。

答弁 可能な限り、多様な子どもを包括的に受容できるように努めていく。



問 私立幼稚園へ金銭補助をすべきだ

答 速やかに庁内で検討したい

軍司俊紀 議員



質問1 子ども政策について

市内の私立幼稚園は、千葉県が所轄している。一方で県内の基礎自治体である市を見ると私立幼稚園に金銭的な補助を出していないのは印西市と浦安市だけであるように思う。金銭的な補助を出していない理由は何か。

教育部長 県が補助金を交付している、市では補助金を交付していない。

再質問 補助を出してほしいと要望がでている。どのように考えているのか。

答弁 県の補助制度にあわせ、他自治体の補助制度を調査する必要がある。今後、庁内において調整し、検討したい。

再質問 子ども政策においてはスピードが重要だ。いつまでに結論を出すのか。

答弁 令和7年度には実施すべきだ。内容を十分に精査でき

ていない。速やかに庁内で調整し、検討したい。

質問2 印西市における情報セキュリティについて、市ではどのような対策を取っているのか。

市長 総務省が定めるガイドラインに沿い、印西市情報セキュリティポリシーを策定し、セキュリティ対策に努めている。

再質問 これまで市に対する外部からの攻撃や情報の持ちし等が発生したことはあるか。

総務部長 これまでではない。



市内の私立幼稚園

問 市内のAEDの設置状況は

答 合計104台設置している

小川利彦 議員



質問1 市施設の設置状況は

市長 市役所や小中学校・公民館などの公共施設69施設や市内のコンビニエンスストア35店舗に、合計104台を設置している。

再質問 AED付き自動販売機及び店舗等への設置について検討してはどうか。

健康子ども部長 AED付き自動販売機は、設置の条件があることから調査する。

質問2 計画道路状況は。

都市建設部長 市道竜腹寺線は、橋梁設計や工事用道路設計を行い工事に着手する。

再質問 1級及び2級道路の整備状況について

答弁 幹線1級及び2級の市道は、路面性状調査を基に、計画的に修繕を進めている。

質問3 飼料用米付状況は。

環境経済部長 飼料用米全体で270・8haの減少があり、

一般品種が450・4haの減少、多収品種は179・6haの増加という状況である。

再質問 飼料用米の一般品種と多収品種の作付けに対する補助は、市としてどちらに重きをおくのか。

答弁 多収かつ価格が安定している多収品種に補助を充実していきたいと考えている。

質問4 農家への支援事業は。

環境経済部長 農業機械等の導入支援や小規模土地改良事業を支援するもの、農業経営の継続を支援する事業などを実施している。



市内小中学校に設置されているAED

問 軟骨伝導イヤホンの導入検討は**答** 庁内関係部署と検討していく

鈴木博美 議員

**質問1** 難聴者への更なる配慮のため、軟骨伝導イヤホンを窓口や庁内貸出用として導入検討できないか。**福祉部長** 安心して相談や手続きができる環境の整備は必要と考え、庁内関係部署と検討していく。**質問2** 愛知県田原市の先進事例のようにタブレットを使用した手続き時短効果のあるシステムを導入できないか。**市民部長** 効率的な窓口サービスを図るため書かない窓口の導入を調査・研究していく。**質問3** 耳の不自由な人の電

笑顔の高齢者

話利用をサポートする電話リ

レーサーサービスの周知状況は。

福祉部長 障がい者福祉のしおりに掲載、また、手話通訳利用者には案内をしている。**再質問** 聴覚障がい者への合理的配慮となるよう全市民に向けて周知できないか。**答弁** 広報いんざいや市ホームページなどを活用し、市民に広く周知を図っていく。**質問4** 開門時刻前に登校している児童への安全対応は。**教育長** 保護者と児童に開門時刻に合わせて登校できるように指導している。**再質問** 各学校に保護者からの相談は届いていたか。**答弁** 市内の小学校1校より、1件あったが学校で対応できる範囲とのことである。**再質問** どのような対応か。**答弁** 開門前5分程度の登校であり、学校で対応している。**問** 生理用品の設置はトイレ個室内に**答** 有効活用のため前向きに協議する

近藤瑞枝 議員

**質問1** 令和4年10月から、市内全校の女子トイレに生理用品が設置されたが、トイレの個室内への設置は小学校3校のみである。生理用品はトイレレットペーパーと同様、個室内に設置するべきではないか。**教育長** 必要とする児童生徒が有効的に活用できる方法を前向きに協議していきたい。**質問2** 市は、70歳以上を対象にふれあいバス無料乗車カードFUREICAを交付している。民間バス利用者も同様のサービスを受けること市役所1階女子トイレは壁掛け式
市民団体が実施

ができれば、より高齢者の移動手段の確保、社会参加の促進が図られる。回数券等を配布できないか。

福祉部長 市内民間事業者へのアンケートを行ったが導入は難しい。**質問3** 医療・介護現場で発生するカスタマーハラスメントを放置することは、従事者の人員不足を招く要因となる。カスハラ対応を専門業者に委託する検討をしてはどうか。**福祉部長** 事業委託を含め、相談窓口設置の必要性について調査・研究していく。**質問4** 「生命（いのち）の安全教育」を一層充実させるため、子どもへの性暴力防止に取り組む専門家の講演や研修に参加する考えはないか。**教育長** 学校関係者を対象に、専門家による講演会の開催を検討する。



ビジネスケアラー

福祉部長 人数は把握していない。地域包括支援センターの相談者から約4割が就労している世代と推察される。

質問1 ビジネスケアラーとは「仕事をしながら家族等の介護に従事する者」のこと。その数は2022年時点で274万人となる。経済産業省が発表した試算では、2030年には約318万人に達し、家族介護者のうち約4割がビジネスケアラーになると見込まれている。市は現状を認識しているか。

再質問 市としても何か対応すべきと考えるがどうか。

環境経済部長 令和6年3月26日に、経済産業省より「仕事と介護の両立支援に関する経営者向けガイドライン」が示された。窓口や市ホームページ等でこれらの情報の周知を図っていく。

質問2 文部科学省の「学校図書館の整備充実について」に基づき利活用を考えると、毎日開館し人のいる図書室こそが望ましいと考える。今の印西市の人員、勤務形態でそれが可能と考えるのか。

教育長 全校に毎日配置することは難しい状況である。

再質問 現在の人員配置目標は達成できているか。

答弁 市教育委員会としては、各校に週3日以上配置を目標としているが、達成できていない状況である。

問 ビジネスケアラーの現状は

答 約4割が就労世代と推察される

稲葉健 議員



問 交通不便地域への対応は

答 運行事業者と協議を進めている

岩崎成子 議員



質問1 交通不便地域への対応は。

企画財政部長 本埜地区を対象にタクシー利用助成制度の実証実験を行うとともに、ふれあいバスの再編と併せ、交通不便地域への対応策について、運行事業者と協議を進めているところである。

質問2 公共交通充実のための今後の取り組みは。

企画財政部長 印西市地域公共交通計画に基づき、鉄道、路線バス、ふれあいバスをはじめ、デマンド交通やライド



公共交通の一翼を担うふれあいバス

シェアなど、様々な交通サービスを地域の特性に応じて、組み合わせることにより、地域住民にとって、より利便性の高い公共交通ネットワークの構築に努めていく。

質問3 大雨による雨水対策は。

都市建設部長 道路冠水を防ぐ目的として、側溝清掃等により既設排水施設の排水能力の確保に努めているほか、順次、排水性能を高めた街渠枳^{がけきょう}に改修を進めているところである。

質問4 印旛支所の大規模改修工事の進捗状況は。

市民部長 契約の相手方が確定したことから、本定例会に工事請負契約の議案を上程している。議決後には、議決日を契約日とし、契約の翌日から令和9年1月15日までを工期予定としている。

問 年金受給者も生活保護申請可では**答** 相談窓口やチラシで周知する

山田喜代子 議員

**質問1** 生活保護は仕事をしていても、年金を貰っていて

も申請は可能だ。対象の市民が受給できるよう、広く周知が必要だ。ホームページ、広報、回覧板、医院の待合室への掲示等の考えは。

福祉部長 生活困窮者自立相談事業（ワークライフサポートセンター）で相談を受けた

場合、相談員が同行して相談・申請に当たっている。



ワークライフサポートセンターの相談窓口

質問2 JR木下駅と小林駅の無人化で市民の安全は守られるのか。車椅子ユーザーは

転居せざるを得ない事態だ。

企画財政部長 成田線活性化推進協議会で要望した。**質問3** 重度障害者等就労特別事業を制度化する考えは。**福祉部長** 雇用促進に繋がるものと考えているので、他市を調査し調査結果をもとに課題を検討する。**質問4** 平和条例の制定にあたり進捗状況はどうか。**総務部長** 先進市や近隣の状況を確認し調査研究をしている。パブリックコメントで市民の声を聴く。**再質問** 平和の標語を作っている中学生や、印西市遺族会の皆さんの声を、またワークショップで市民の声を聴く考えはないか。**市長** 先の大戦後、平和主義を掲げ、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、今後とも堅持していくことが重要だ。**問** 災害と選挙が重なった時の対応は**答** あらゆる危険性に備える事は必要

都築真理子 議員

**質問** 選挙困難事態が発生した場合の対応について伺う。**選挙管理委員会事務局長** 告示された以上、その告示で定められた選挙期日に必ず行うことが原則であるが、例外として、公職選挙法第57条に繰延投票に関する規定がある。**再質問** 繰延投票はどのような時に可能か。**答弁** 事故の原因が真に避けられないことができない、また天災等により、選挙人に投票する意思があっても投票所に来ることができないことを判断基準として選挙管理委員会が認定することになっている。**再質問** 繰延投票は何日まで延長可能か。**答弁** 繰延投票を行うこととなった事情が解消され正常な投票が期待できるようになった時に、選挙管理委員会が繰延投票の期日を定めて投票が行われることとなる。

行われることとなる。

再質問 近年の異常気象等を考えるといつ何が起こるか分からない。災害時に備え、緊急時対応マニュアルの策定や、実情を踏まえた対応策の検討は必要ではないか。**答弁** 現時点では、緊急時対応マニュアルは作成していないが、あらゆる災害に備えることは必要であると考えている。災害が発生した場合における投票所での対応について、投票事務従事者をはじめ、投票管理者や立会人へ周知したいと考えている。



問 今後の公立保育園の役割とは

答 幅広い子育て支援策の担い手

大崎亜希 議員



質問1 園児数の減少に対して、どのように支援をしているのか。

健康子ども部長 保育ニーズに合わせ、定員を見直すことも視野に入れている。

再質問 今後の需給をどのように考え計画をしているか。

答弁 今後短期的には就学前児童数は微増傾向が継続し、現状維持の状況が続く。また

長期的には、児童数、保育ニ

ーズともに減少するため、利用定員の変更による対応や、必要最低限の施設整備をすることを考えている。

質問2 女性デジタル人材育成についての取り組みは。

環境経済部長 国が策定した「女性デジタル人材育成プラン」に基づく支援策等について、これから調査・研究していく。

再質問 就労支援企業との連携誘致の検討はできないか。

答弁 先進的に実施している自治体の情報収集等に努めていく。

質問3 音楽フェスの誘致について、民間主催または行政主催についてどう考えるか。

環境経済部長 民間主催の音楽フェスの誘致に関しては、市民ニーズや民間事業の意向等を注視したい。

問 自然と調和したまちづくりとは

答 市街化調整区域に地区計画の活用

板橋睦 議員



質問 市街化区域に隣接する地域などでの自然と調和したまちづくりについて伺う。

都市建設部長 印西市としては、市街化区域に近接する地域については、開発許可制度により、ゆとりある居住環境と周辺地域との調和に配慮したまちづくりを進めている。

また、都市計画制度には土地利用誘導等を行う手法として地区計画がある。地区計画は一定の範囲の地区において、その地区独自のルールを都市計画に定め、良好な市街地環境を形成していく。



印西市の地区計画位置図

再質問 市では現在、連たん制度による住宅開発により、人口は増加傾向にあるが長期的には人口減少が予測されている。将来にわたって人口維持するための方策として、市街化調整区域に地区計画制度を導入する考えはないか。

答弁 地区計画制度は、地区の特性に応じて秩序ある適切な土地利用に誘導していくための緩和と規制の両面を持ち合わせた制度である。市街化調整区域においても導入可能な土地利用誘導手法の一つであることから、必要に応じて地区計画制度の活用も含めて市街化調整区域の適切な土地利用の誘導を図りたい。

再質問 人口維持のためにも地区計画制度を緩和型で導入する考えはないか。

答弁 緩和または規制の両面から方向性を検討したい。

問 小規模特認校へスクールバスを

答 検討を進めてまいりたい

米井重行 議員



質問1 小規模特認校は保護

者の責任と負担において公共交通機関や保護者の送迎等により安全に通学させることができることを条件としている制度とあるが、子どもたちに対し条件を付けることに対し違和感を覚える。通学定期補助金にも縛りがあり予算が余ったのも現実である。子どもたちには平等な環境を準備するのが行政の役目と考える。必要な所に必要なことをするのが政治ではないか。制度とはより良い方に変えてい



危険な通学路を歩く子どもたち

くのが当たり前と思うが、市長の考えを伺う。

市長 全ての子どもたちにし

っかりと子どもたちに合った教育環境を提供していくことが一番の責任だと思っている。アクセスの問題については最優先で解消・解決を目指すべきだというのが基本的な方向性でもある。スクールバスの導入やスクールタクシーなどの導入の検討について子どもたち、保護者の方々に寄り添った通学の環境を確保すべく検討を進めてまいりたい。

質問2 松崎地区の通称「さんごつぺた」の狭隘道路につ

いて、今後の工事内容を伺う。

都市建設部長 車両同士のす

れ違い場所を確保するために待避所を設置し、併せて、現地の状況に応じて舗装の打ち換えや側溝等の排水整備を実施する予定である。

問 部活動地域移行は慎重に

答 9年9月から完全地域移行を予定

松尾榮子 議員



質問 部活動地域移行につい

て令和7年9月から野球と女子バレーボール、令和8年9月から全12種目の実証事業を実施とのことだが、令和9年9月からはどうなるのか。

教育長 令和9年9月以降は、

休日の全部活動を完全に地域クラブに移行予定である。

再質問 具体的実施方法は。

答弁 運営団体を民間事業者に業務委託。その団体が指導者の登録や勤怠管理、また、生徒の募集と登録を管理し、地域クラブを運営する。

再質問 課題として、家庭の



部活動から地域クラブへ

費用負担、指導者の確保、活動場所が市内の数か所にまとめられ、そこへ通うための生徒の交通手段などがあるが、

どう解決を図るのか。

答弁 モデル実証事業の中で

丁寧に検証し、持続可能なスポーツ・文化芸術活動となるようにしていきたい。

再質問 熊本市の部活動改革

検討委員会は、部活動の運営を民間団体に委ねる地域移行を見送り、新しい学校部活動の運営方針を市教育委員会に提出した。業者委託を前提に、学校の活動とは切り離す地域移行ありきではなく、真に子どもたちに寄り添った部活動の在り方を、あらゆる可能性を検討して進めるべきでは。

答弁 モデル実証事業を丁寧に検証分析し、より良い部活動地域移行の在り方を模索して実施していきたい。

問 ふれあいバス停留所の管理状況は**答** 運行事業者と対策を検討する

津田憲吾 議員



質問 ふれあいバス停留所のインフラ整備について。バス停の雑草の繁茂や歩道と車道との段差などの環境整備について伺う。

企画財政部長 道路管理者や運行事業者と連携し、待合場所の状況に応じて、草刈りや足場の整地を実施している。歩道と車道の段差が生じているバス停は数多くあるが、バス停への停車の際に、車両の停車位置を歩道側に寄せるなど乗降者の負担軽減に努めている。

再質問 状況に応じて草刈りを行っているとのことだが、その状況判断はどのように行われているのか。

答弁 職員の巡回、運行事業者や利用者の意見等から、現地を確認して判断している。

再質問 草刈りをスポット的に対応するのではなく、歩道



市内を回るふれあいバス

帯の拡幅、植栽等の一部撤去など、草が生えない状況に対応することについて、市では検討できないか。また草などが生い茂ってしまい、人の姿が埋もれてしまうようなバス停も散見されるが、安全上の観点からどのように考えているのか。

答弁 歩道等の拡幅、植栽等の一部撤去に関しては、関係部署と情報共有して、対策を検討する。また安全上問題があるとされるバス停は、運行事業者と対策を検討する。

問 医療的ケア児への支援強化とは**答** 切れ目のない支援を進める

加藤亮二 議員



質問1 医療的ケア児及び家族への支援強化とは、どのような施策を講じるのか。

市長 市民、特に当事者、そして保護者の声をしっかりと聴き、各機関の連携を取りながら切れ目のない支援をしつかりと進めていきたい。

質問2 原小学校の分離新設について、新校舎の建設にあたっては医療的ケア児の児童の登校も叶えられるような、インクルーシブ教育に対応できる設計を考慮するべきではないか。

市長 時間的に厳しいが、インクルーシブ教育に配慮し、できることは行っていきたい。

質問3 フリースクールなどの多様な学習機会への支援とは、具体的にどのような支援策を講じる予定なのか。

市長 他市の多様な支援の内容等について調査・研究をしながら、具体的な支援策について前向きに検討を進め、実現可能なものから順次、迅速に実施していきたい。

質問4 原小学校で実施されている「Think Big Space」プログラムは地域の教育における画期的な取り組みとして注目されている。市内の他の小学校に拡大する計画はあるのか。

教育長 市内の他の小中学校においても学ぶことができるように進めていきたいと考えており、計画を検討している。



多様性ある学校環境づくり

各常任委員会の審査

印西市議会では、すべての議案を委員会に付託し審査することを原則としています。
各委員会に付託された議案と審査内容の一部を要約して掲載します。

建設経済常任委員会

環境経済部・都市建設部・上下水道部・農業委員会を所管

松山下公園野球場保全改修工事へ



保全改修工事を行う松山下公園野球場

【議案第7号 工事請負契約の締結】

【内容】松山下公園野球場保全改修工事のための工事請負契約を、株式会社ナカムラと5億3790万円で締結。工期は令和7年9月30日まで。

問 松山下公園野球場保全改修工事において、新しく設備や機能が変わるものはあるか。

答 建物の機能回復を目的とした改修工事になるので、大きく形状等が変わることはないが、照明のLED化やトイレ便器の洋式化、空調設備の更新、LED形式のスコアボード表示への更新などを実施する。

問 落札した事業者は、このような工事の実績はあるのか。

答 印西市における最近の受注実績は、令和5年度に印西市高齢者就労支援センター改修工事、令和2年度に牧の原学校給食センター改修工事がある。

問 低入札調査基準価格を下回って入札価格が低くなった要因は何か。

答 入札金額については、業者の考えにより入札されていると考える。

問 落札者の技術評価点について、特に優れていた内容は何か。

答 評価が高かった項目は、施工実績と施工経験の項目であった。

問 改修工事の間、影響を受ける利用団体への周知は。

答 令和6年度印西市野球場施設の大会利用計画についての通知文により関係者に周知しているほか、工事内容や休止期間などについては、令和6年7月19日に主要団体を対象とした説明会を開催して周知している。

審査結果	番号	件名	結果
	議案第7号	工事請負契約の締結（松山下公園野球場保全改修工事）	可決
	議案第11号	印西市道路線の認定	可決

建設経済常任委員会の
審査の様子はこちらから。



いんざい議会だより

令和6年（2024年）11月 No.210

総務企画常任委員会

総務部・企画財政部・市民部・会計課・選挙管理委員会・監査委員を所管

印旛支所の閉鎖中は分庁舎にて業務実施

【議案第6号】工事請負契約の締結

【内容】ふれあいセンターいんば改修及び複合化施設増設工事

問 印旛支所の閉鎖予定期間中の代替計画は。

答 印旛支所市民サービス課は、同敷地内にある分庁舎に移り業務を継続し、図書館、児童館、健康づくりセンターは、所管課にて検討



改修及び増築が予定されている印旛支所

している。

問 新設の太陽光発電の発電能力は。

答 増築する公民館の屋上に設置し、能力としては約60キロワットの設備を設ける予定である。

問 総合評価方式の結果を踏まえ、問題意識を持つ必要がある、もっと良い方法を考えていく必要があるのでは。

答 1者入札が望ましい形ではないということは認識をしている。入札前に資格要件を設定し、業者数は57者を見込んでいたが、最終的に応札があったのは1者であった。総合評価方式の問題点という捉え方はしていない。

【議案第3号】印西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】被保険者証の廃止に伴い、被保険者証の返還に応じない者に対する罰則の規定を削除するもの

問 マイナンバーにひもづけを行わない方へ、案内をする必要があると思うが、どのように周知していくのか。

答 12月2日以降、新規の健康保険証の交付がなくなることで、マイナンバーとひもづけしていない方については、資格確認書が交付されることについて、市広報及びホームページで案内し、支所、出張所、国保年金課の窓口でチラシを配布する予定である。

番号	件名	結果
議案第3号	印西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第6号	工事請負契約の締結（ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事）	可決
議案第10号	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決



文教福祉常任委員会

原山小の大規模修繕工事は令和8年2月まで

【議案第1号】印西市地域福祉計画推進委員会設置条例の制定

【内容】地方自治法の規定に基づき印西市地域福祉計画推進委員会を設置する

問 委員を15人以内の枠としているが、委嘱者の内訳は。

答 公募委員で2名、社会福祉関係者として5団体5名程度、地域福祉活動実践者は3名、保健医療関係者1名、市長が必要と認める方1名、学識経験者1名を予定。

【議案第2号】印西市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

【内容】配偶者からの暴力の

防止及び被害者の保護等に関する法律の施行に伴い引用条項の整合を図るとともに、健康保険の被保険者証が廃止されることに伴う字句の整理を行う

問 対象となるひとり親家庭の世帯数は。

答 令和5年度末で404世帯、1051人である。

【議案第8号】工事請負契約の締結

【内容】原山小学校の保全改修工事

問 修繕工事は、契約日から令和8年2月27日までの長期になるが、工事の間隔、平日、土日の工事実施、学校行事の対応について伺う。

答 基本的に月曜日から土曜日まで、日中を想定している。学校行事等は学校側と十分調整した上で、学校行事に支障がない形で事業者と話して進めたい。

問 エアコンは導入されるのか。

答 エアコンは更新する。ただし、体育館のエアコンの設置予定はない。



原山小学校正門

審査結果	番号	件名	結果
	議案第1号	印西市地域福祉計画推進委員会設置条例の制定	可決
	議案第2号	印西市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	議案第8号	工事請負契約の締結（原山小学校保全改修工事）	可決
	議案第9号	財産の取得（（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設事務備品）	可決



令和6年第3回定例会 議案と審議結果一覧

全会一致議案一覧

番 号	件 名
《 議 案 》 （ 市長提出議案 ）	
議案第1号	印西市地域福祉計画推進委員会設置条例の制定
議案第5号	令和6年度印西市介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案第6号	工事請負契約の締結（ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事）
議案第7号	工事請負契約の締結（松山下公園野球場保全改修工事）
議案第8号	工事請負契約の締結（原山小学校保全改修工事）
議案第9号	財産の取得（（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設事務備品）
議案第11号	印西市道路線の認定
認定第5号	令和5年度印西市水道事業会計決算認定
認定第6号	令和5年度印西市下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定
同意第1号	印西市副市長の選任につき同意を求めること（染谷 豊氏）
同意第2号	印西市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めること（小林 哲也氏）
同意第3号	印西市教育委員会の教育長の任命につき同意を求めること（渡邊 義規氏）
同意第4号	印西市教育委員会の委員の任命につき同意を求めること（長尾 香奈氏）
同意第5号	印西市教育委員会の委員の任命につき同意を求めること（屋敷 毅氏）

番 号	件 名	議決結果	大崎 亜希	大野 忠寄	加藤 亮二	鈴木 博美	津田 憲吾	都築 眞理子	林 勝利	松谷 知美	藤江 研一	稲葉 健	小川 利彦	櫻井 正夫	岩崎 成子	近藤 瑞枝	増田 葉子	松尾 榮子	軍司 俊紀	金丸 和史	板橋 睦	山田 喜代子	米井 重行	海老原作 一
《 議 案 》 （ 市長提出議案 ）																								
議案第2号	印西市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第3号	印西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
議案第4号	令和6年度印西市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認定第1号	令和5年度印西市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認定第2号	令和5年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認定第3号	令和5年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
認定第4号	令和5年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—

※○＝賛成、×＝反対、退＝退席、欠＝欠席、除＝除斥（※地方自治法の定めにより本人等が関係する議案の採決に加われません。）、—＝その他 ※議長（海老原作一）は採決に加わりません。

高花MBC（高花ミニバスケットボールクラブチーム）小学生28名により結成。みんな元気よく声を掛け合い、活気あふれた練習風景でした。休憩時間にもボールに触れておりバスケットへの情熱が伝わります。



本会議での討論（要約）

非正規である会計年度任用職員の職種は保育士・保健師・管理栄養士・介助員・学習指導員等、福祉・教育部門に多く女性が83%を占める。豊かな財政力を活かして正規化へ転換することを強く求める。

討論
賛成
反対

議案第4号一般会計補正予算には部活動地域移行への業務委託費が債務負担行為で計上され、今後全休日部活動が学校を離れ地域クラブへ移行する。生徒の通部、費用負担等多くの不安があり反対。

印西市の
未来を担う私たち

小林中学校

3年 清水 宥良



私は生まれたときから、ずっと印西市に住んでいます。印西市は緑が多く、自然が豊かな市です。幼い頃は近くの公園や市内の公園で思い切り遊んでいました。現在の印西市は千葉ニュータウンを中心に交通網や商業施設が発展し、人口もどんどん増加していると授業でも習いました。全国を対象にした、市町村の魅力度ランキングでも上位に

置すると聞いたこともありです。印西市が発展を続けることは、とても誇らしいことです。

その中で、これからの印西市を担っていく私たち中学生世代にとって大事なことは、小さな事でも実践していく心構えだと思います。例えば、街中に落ちているゴミを拾ってみたり、買い物に行くときにはマイバックを持ち歩いたりすることが挙げられます。私は、自然と都市が共生しているこの印西市が好きです。都市の発展と共に自然と共生するためにも、私たちが出来る小さな事を実践していくべきだと考えます。

今私が思うのは、もっと色々な同世代の意見を聞いてみたいということです。未来の印西市を担う私たちが印西市の事を思っ、考え・行動していきたいです。

第4回定例会 会期予定及び日程

令和6年第4回定例会は、11月29日(金)から12月19日(木)までの会期予定です。

最新の日程は、ホームページでご確認ください。

なお、インターネットによる本会議のライブ中継および委員会の録画中継を配信していますので、ご利用ください。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎0476(33)4614



いんざい君©
2011 Inzai City

日	月	火	水	木	金	土
11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22 議会運営 委員会	11/23 勤労感謝 の日
11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29 本会議 (議案上程)	11/30
12/1	12/2 本会議 (個人質問)	12/3 本会議 (個人質問)	12/4 本会議 (個人質問)	12/5 本会議 (個人質問)	12/6 本会議 (個人質問)	12/7
12/8	12/9 予算審査 常任委員会	12/10 総務企画 常任委員会	12/11 文教福祉 常任委員会	12/12 建設経済 常任委員会	12/13	12/14
12/15	12/16	12/17	12/18 議会運営 委員会 正副委員長会議	12/19 本会議 (議案の採決)	12/20	12/21

編集後記

第3回定例会では、令和5年度決算審査のほか補正予算、各種議案について慎重審議を行いました。一般質問では、代表質問、個人質問で、新議員を含む計20議員が質問に立ち、市政の課題について活発な議論が行われました。

市民生活に密接に関わる議会活動の一端が、議会だよりを通じて市民の皆様へ伝わり、議会への関心を深めていただく一助となることを願い、編集委員一同、今後も一層の努力を続けてまいります。

(松尾)

委員長
副委員長
委員

〃 〃 〃 〃 〃

米井 重行
林 勝利
板橋 睦
櫻井 正夫
松尾 榮子
都築 真理子
鈴木 博美
加藤 亮二
大崎 亜希